

# びぶいお定期便

10月27日～11月9日は秋の読書週間です。ジュニアコーナーでは物語以外にも、スケートボードの本や10代向けのボルダリングの本、部活の本などもとりそろえています。あなたに合った本がきっと見つかる・・・はず!?

また、今回恵那市中央図書館でもtwitterを始めました。旬な情報をつぶやいたり、イベントの写真をアップしていきますのでお見逃しなく!

## 恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 9月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
文学部	戸田恭子/著	ペリかん社	376.8/ト/
スカートはかなきゃダメですか?	名取寛人/著	理論社	769.9/ナ/
ぼくらはその日まで	小嶋陽太郎/著	ポプラ社	913.6/コ/
人魚に嘘はつけない	半田畔/著	一迅社	913.6/ハ/

follow me on  
**twitter**  
@ena\_lib



### 今月のおすすめ びぶいお本

『18歳からの投票心得 10カ条』

石田尊昭/著 世論時報社  
313.7/イ ジュニアコーナー

2015年6月、選挙権が「18歳以上」に引き下げられました。とは言っても、学生の皆さんは、選挙なんていまいちピンとこない、という人がほとんどだと思います。この本は民主主義とはなにか、投票するに当たって知っておいて欲しい10カ条が載っています。10月末に予定されている衆議院選挙も踏まえて、参考に読んでみてください。まだ選挙権を持っていない人も、考えるきっかけにしてみてください。

## 今月のイチオシ!

### 恵那特別支援学校

9月9日(土)に「高等部体育大会」を開催しました。午前には体育館、午後はグラウンドで競技を行いました。体育館では、演技種目として「ソーラン節」を全員で踊ったり、それぞれの学年種目に取り組んだりしました。午後は、選択種目の「つなとり」や「30メートル走」などに出場しました。また、「応援合戦」では、紅団・白団ともに練習の成果を発揮し、各団全員が一つになり、大きな声で応援歌を歌ったり、三三七拍子をしたりしました。自分の力を精一杯出し切る姿、仲間を応援する姿等、たくさんの輝く姿が見られました。

『だれもしらないヒーロー』 きむら ゆういち 作 (講談社)

あらしのよるに会って友達になったオオカミのガブとヤギのメイの二人。でも、そのことは二人だけの秘密でした。今日もメイはガブに会うために出かけて行きましたが、ヤギの仲間たちもついてきてしまいました。

そんな中、子ヤギのメイが川の中で立ち往生してしまいました・・・。  
オオカミのガブとヤギのメイの友情はどうなるのでしょうか。絵本ですが、子どもから大人まで楽しめる作品です。

### 恵那農業高等学校

「芸術の秋」、「食欲の秋」、「読書の秋」・・・、秋にはいろいろな形容詞が付けられますが、その通りで、今農高の果樹園では「なし」が収穫時期を迎えています。いろいろな品種の梨が時期をずらしながら収穫されていますが、とてもみずみずしく甘いです。「彩広場」で販売しておりますので、ぜひ買いに来て下さい。食べ比べも楽しいですよ。

#### オススメの一冊

『罪の声』 塩田武士著 講談社

グリコ・森永事件と言ってピンと来る人はいないでしょう。この事件は昭和59年に阪神地方を舞台として江崎グリコなどの食品会社を標的とした一連の企業脅迫事件です。この事件では、犯人につながるヒントの場所を指定した声明を、当時の子供の声で行ったカセットテープを送りつけたものであったのだが、小説はこの声明の子供の声が自分の声であったという衝撃的な場面から始まります。その人は今一体何を考えて生きてるのか聞いてみたい気がして、興味深い本です。

### 恵那高等学校

恵那高校では8月26日、27日に城陵祭文化の部があり、図書委員会では期間中、生徒から読まなくなった本や家で眠っている本などを回収して販売する「古本市」を行いました。本は文庫や漫画、絵本など様々な分野のものが集まり、2日間で315冊売れ、金額にして16,840円の売り上げとなりました。売上金は全て「エナセフ募金」に寄付し、ユニセフへの寄付等に充てられます。後期も図書委員会ではPOP講座や貸出キャンペーンなど様々な活動を行っていく予定です。ご期待ください。